

令和8年度 板橋区立板橋第二中学校 学校経営方針（抜粋）

(1) 「夢がつながる学びのエリア」（板二中、板五小、板十小）のめざす子ども像

自ら考え、見通しをもって取り組み、心身ともに健康で思いやりの心をもって接することができる子

(2) 学校の教育目標・めざす生徒像

(知) よく考え最後まで努力する人

・ 他者の多様な意見を取り入れてよく考え、自らを高める少し高い目標に向けて粘り強く学ぶことができる生徒

(徳) 思いやりをもち責任ある行動がとれる人

・ ものごとに他者と協働で取り組む際に相手に思いやりの心をもって接し、自ら考え、正しく判断することで、他人のせいせず自分の行動に責任をもてる生徒

(体) からだや心を大切にす人

・ 基本的な生活習慣を身に付け、自らの健康を維持するとともに、自分の感情をコントロールして他人と接し、自分も他人も大切にする生徒

(3) めざす学校像

① **学ぶ意欲を高め、自ら取り組む生徒を育てる学校**

- ・ 「板橋区 授業スタンダード」に沿った授業の実施 → ねらいの板書・明示、振り返りの記述
- ・ 基礎・基本の定着と授業スタンダードSの使い分けによる学習 → 自己調整型の学習の設定、朝学習でのモジュール学習
- ・ ICT機器や一人一台タブレットを効果的に活用した教育活動 → 意見集約や課題提出
- ・ 小中一貫教育として連携した指導の工夫 → 分科会での連携授業の実施、授業規律の共通化
- 学習した内容を定着させる家庭学習を促す取組 → 家庭学習ノートの取組の充実、テスト直し
- 探究的な学習による総合的な学習の時間の充実 → 生徒自身が課題を立てて探究する学習
- ・ 社会のさまざまな課題に目を向けさせる学習 → 防災教育、環境問題、職業人から学ぶ会

② **生徒も教員も誇りをもてる学校**

- ・ 時間を意識した行動のできる生徒の育成 → チャイムで始まる授業
- ・ 生徒が誇りをもてる学校づくり → あいさつの活性化、あいさつ運動、委員会の工夫した活動
生徒会との話し合いによるきまりの整備
- 地域の資源を活用した教育活動 → 地域と連携した防災の取組、学校支援地域本部による支援
- 80周年に向けた取組の推進 → 教員の周年準備委員会の設置、教育目標見直しの検討
- ・ 情報の共有化と指導体制整備による、いじめを解決できる学校づくり
→ 学校いじめ対策基本方針に沿ったきめ細かな対応
- ・ 教員組織の整備と働き方改革の推進 → アクティブオフディの設定、部活動指導員の活用、
地域クラブ導入

③ **保護者・地域から信頼される学校**

- ・ ホームページや学校だより・学年だよりの時期をとらえた発行による情報発信
- ・ 保護者への確実な連絡・報告 → 家庭と連携しての課題解決、面談での学校生活についての報告
- ・ 情報セキュリティ対策の徹底 → パスワード管理の徹底、データ管理の徹底
- ・ 適正な指導の実施 → 組織的な指導、納得させる指導、一方的な指導の排除
- ・ 適切な評価材料による適正な評価の実施 → 学習の手引きの発行

○ 令和8年度の主な変更事項

- ・ 1学期の朝学習における5教科のモジュール学習（授業の一部）
- ・ 2学期からの時程の繰り上げ（放課後の時間確保と下校時の安全対策）
- ・ アクティブオフディ（余白の時間）の設定
- ・ バドミントン部の8月からの地域クラブ化
- ・ 宿泊行事費上限額の引き上げ（8年生富士見高原移動教室 13,000円）